



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第501号

2021年4月19日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

カルチャータウンもえぎ野が物流倉庫群に

八千代市は、大学の誘致とセットのまちづくりを2か所で行いました。一ヶ所は秀明大学のある「大学町」。もう一ヶ所は東京成徳大学のある「もえぎ野カルチャータウン」です。

この2か所とも、「バブル期」に計画されたもので、見込み通りには住宅が張り付かず、まちづくりの失敗のツケを住民に払わせようとしています。もえぎ野は、大成建設KKの開発で、今後、大学の撤退が予定され、良好な住宅地として確保されていた宅地予定地の半分（400戸）を、「土地利用計画」を変更して物流倉庫群と商業系施設に変更しました。

文教住宅都市の香るもえぎ野に、「終の棲家」として移り住んできた住民に対する重大な約束違反ではないでしょうか。

大成建設から公共用地が無償で提供

2016年（平成28年）大成建設は、開発の半分に当たる22.4%の土地について、住宅系から商業系への変更を八千代市に申し入れました。八千代市が「土地利用計画」を変更しない限り、大成建設の土地は塩漬けされたままになるからです。

その際、大成建設KKから八千代市に、土地の無償提供の話がありましたが、「当面活用する予定がない」として断っているのです。

その後、服部市長になってから、東八千代調理場の敷地分の土地（9千平方メートル）を無償提供するとの提案を受け入れ、「土地利用計画」が変更されています。

9千平方メートルの土地の値段は、令和2年度の固定資産税路線価格の資料で試算すると約2億4千3百万円です。開発予定地は22.4%で、約60億円の土地の資産です。八千代市が「土地利用計画」を変更したことで、大成建設は塩漬けが解けて利益追求ができるようになったのです。無償提供を受けた市が、「土地利用計画」変更には便宜を図ったのではとの疑問はぬぐい切れません。

子どもたちに、安全で温かな給食の提供を

八千代市は、自校方式の給食校は4校のみで、他は給食センター方式です。老朽化した村上調理場を建て替え、全ての学校をセンター方式にするために、もえぎ野に東八千代調理場をつくる計画は、無償の話があって一気に進みました。そもそも、巨大な給食センターをつくるよりも、自校給食校を整備するほうが、費用が軽減できると高崎市・奈良市などで進められています。（八千代市は、比較できる詳細な試算は行っていません）安全で、温かく、作り手の見える自校給食こそ、子どもたちに提供することが、行政の責任ではないでしょうか。



日本共産党は、これからも「自校給食」の促進のために全力で頑張ります。